



イクボス



国土交通省航空局 安全部  
航空交通管制安全室  
交通管制安全監督官  
臼井 範和さん  
2019年度に、部下職員が「男の産休」6日間、育児休業を1か月取得しました。

牛尾 私も育児休暇を推奨しているという空気を、職場内に作ることが必要だとおもいます。上司も育児休暇を推奨しているという

をして休業に入れるようにしています。  
中谷 「上司がOKしたからそれでよし」ではなく、周りの職員の理解を得ることも大切です。普段から「ミニ二ケーション」を図り、信頼関係を築いてこそ協力してもらえるということを伝えています。

宮本 休業に入る前に職員が自ら業務の分担等、段取りを付けてくれました。それに加え、日頃から課の中の各チームで、ある程度、業務を共有していることが大切です。

臼井 「○○さんが育児休業を取得したいと迷っていたので、積極的に取るよう勧めました」と広言することも、一つの方法だと思います。

中谷 上司も同僚も業務の合理化を考える機会となり、職場での家族の話も含め何でも話しやすい雰囲気ができる等の多くのメリットに目を向けて欲しいです。

牛尾 部下が遠慮なく話しに来やすいうような雰囲気を作ることが大切。私自身もいかにして、より話しやすい雰囲気を作つて

—上司としてどのような心得を持つていると良いでしょうか？

中谷 上司は、育児に伴う休業・休業を業務研修として捉えると許可を出しやすくなるのではないかでしょうか。「ミニ二ケーション」や業務合理化の意識が向上することは間違いありません。

牛尾 令和元年度から本人の意向を聞いた上で、上司が育児に伴う休暇・休業の取得計画を作成することになりました。相談しようか迷っている時点で、上司に話をするのが一番だと思います。

臼井 「○○さんが育児休業を取得したいと迷っていたので、積極的に取るよう勧めました」と広言することも、一つの方法だと思います。

中谷 上司も同僚も業務の合理化を考える機会となり、職場での家族の話も含め何でも話しやすい雰囲気ができる等の多くのメリットに目を向けて欲しいです。

牛尾 部下が遠慮なく話しに来やすいうような雰囲気を作ることが必要と考えます。

宮本 育児に伴う休暇・休業を考えている皆さんは、自分の主体的な問題として捉え、制度な

49

育児と両立しやすい職場づくりのために  
**イクボスたちの想い**

部下から育児に伴う休暇・休業の取得希望を伝えられた時、どのような対応をとり、職場のマネジメントを図るのか？イクボス4人にお話を伺った。

※所属部署等の情報は取材当時(2020年度)のものです。



防衛省 防衛政策局 調査課  
情報保全企画室 室長  
宮本 康宏さん

2019年度に、部下職員が「男の産休」7日間、育児休業1か月を取得しました。

中谷 当時、総勢10人の中の2人が育児休業を取ることになりました。重要なポストに就いているため不安はありました。ただ、子どもは国の大切な命、部下に子どもが生まれることをうれしく誇らしくも思い、快く承認しました。

牛尾 私が着任する前の課長のご判断で承認されていたのですが、私も育児休業の希望があれば取させてあげたいという考え

一部下から報告を受けた時は、どのような気持ちでしたか？

を持っていましたので、躊躇なく受け入れることができました。

臼井 部下職員から育児休業を取得したい旨の相談を受けた時は、「一つ返事で賛成しましたし、率直に羨ましいと感じました。

私の子どもが生まれた當時、男性の育児休業は一般的なものではなく、仕事一辺倒の毎日でした。子どもが小さい頃に育児にたずさわって一緒に遊んだりして記憶がなく、今でも残念に感じているからだと思います。

宮本 4～5年前、男性の育児休業はあまり浸透しておらず、一瞬、驚いた記憶があります。しかし、今は「育児は手伝うものではない」といわれる時代。男性職員の育児への積極的な参加は喜ばしいことだと思いました。



外務省 経済局  
漁業室長  
中谷 好江さん  
二女の母。自身も育休取得経験者。2019年度に、部下職員2人がそれぞれ「男の産休」と、2か月、8か月の育児休業を取得しました。

—育児休業取得のための職場での取組を教えてください。

牛尾 文部科学省はイクメン職

員を支える職場の取組としてセミナーやランチ会などを行っています。他の職員と悩みや喜びなどを共有できるこのような催しは大切だと思っています。部下職員には、休暇前にできることは処理し、休暇期間中にやらなければならないことは同僚に対応を依頼するように伝えました。周りの職員にも協力をお願いし、万全な環境整備

と思います。



文部科学省 高等教育局  
高等教育企画課長  
牛尾 則文さん  
2019年度に、部下職員が「男の産休」と6か月の育児休業を取得しました。

思います。

宮本 育児に伴う休暇・休業にかわらず、何らかの事情で人員が通常よりも少なくなる経験を通して、チームの体制がで

きてくることもあります。人が欠けることをネガティブに捉えず、チームの力を強くする良い機会になると思います。

—イクボスとしてアドバイスをいただけますか？

中谷 上司も同僚も業務の合理化を考える機会となり、職場で

いくかを一つの課題にしています。白井 休暇後も育児は続きますので、職場に復帰後も、定時退院を目指して効率的に仕事を進めたいと思います。また、管理職も、定時退院が普通だと考えます。

宮本 育児に伴う休暇・休業を考えている皆さんは、自分の主体责任的な問題として捉え、制度な